

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成23年第28週(7月11日~7月17日)

兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

手足口病

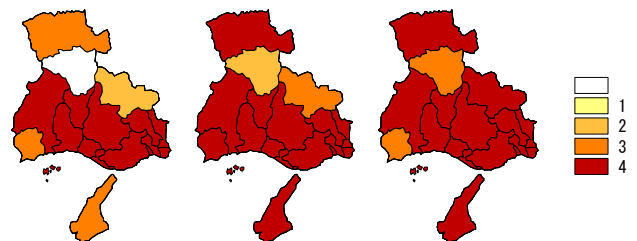
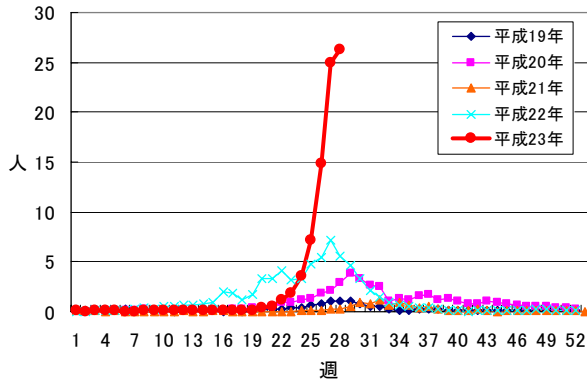
定点あたり患者数は今週 **26.24人**と先週(24.91人)より増加しましたが、増加の程度はわずかとなりました。しかし、今年の流行は定点観測開始以来最大規模の流行となっており、しばらくは注意が必要です。

地域的には赤穂、丹波の各保健所管内を除く15保健所管内が警報レベルである定点あたり患者数5人以上となっています。患者の年齢分布は1歳(25%)、2歳(17%)、3歳(15%)、4歳(12%)の順で、0~5歳で全体の87%を占めています。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、4月及び5月に採取された手足口病患者の検体から**コクサッキーウイルスA6型**を検出していますが、その後(5月中旬~7月中旬)洲本市、姫路市、柏原市、朝来市の医療機関で採取された手足口病患者8名(1歳~8歳)の検体(便、直腸ぬぐい液、咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液)からも**コクサッキーウイルスA6型**を検出しました。

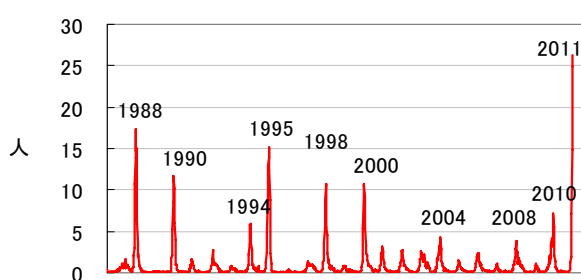
手足口病の感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染などです。保育園や幼稚園などの乳幼児施設における感染予防では手洗いの励行と排泄物の適正処理が基本となります。

手足口病の定点あたり患者発生状況(県内)

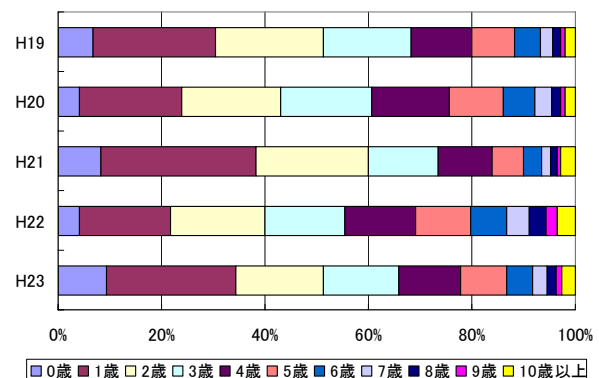


26週 27週 28週
(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。)

手足口病の定点あたり患者数の推移(県内)



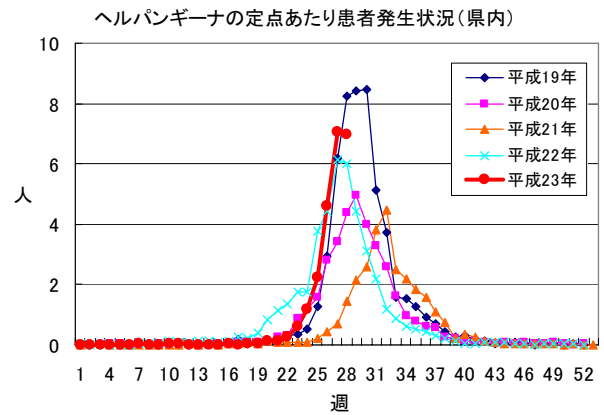
手足口病の年齢階級別患者発生割合



ヘルパンギーナ

定点あたり患者数は今週 **6.99人**（先週は7.05人）と減少し、流行のピークを超した模様です。県内では8保健所管内が警報レベルである定点あたり患者数6人以上になっています。

兵庫県立健康生活科学研究所：健康生活科学研究センターは、姫路市及び佐用町の医療機関で4月及び5月に採取されたヘルパンギーナ患者7名（0歳～7歳）の検体（全て咽頭ぬぐい液）から**コクサッキーウイルス A6型**を検出しました。



定点あたり患者数の上位10位の疾病

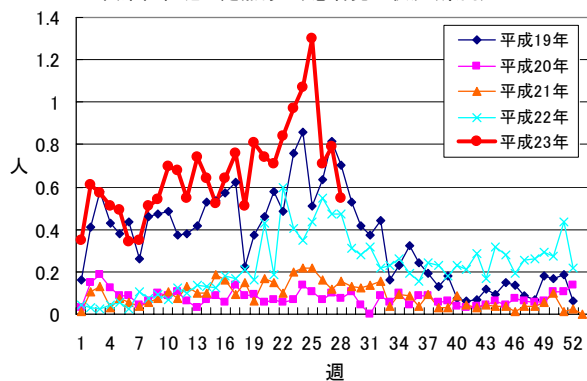
順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	手足口病	26.24	24.91	+1.33	6位	突発性発しん	0.78	0.66	+0.12
2位	ヘルパンギーナ	6.99	7.05	-0.06	7位	A群溶血性レン球菌咽頭炎	0.64	0.92	-0.28
3位	感染性胃腸炎	3.19	3.64	-0.45	8位	咽頭結膜熱	0.59	0.60	-0.01
4位	流行性耳下腺炎	1.29	1.26	+0.03	9位	伝染性紅斑	0.55	0.79	-0.24
5位	水痘	1.25	1.02	+0.23	10位	流行性角結膜炎	0.43	0.71	-0.28

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

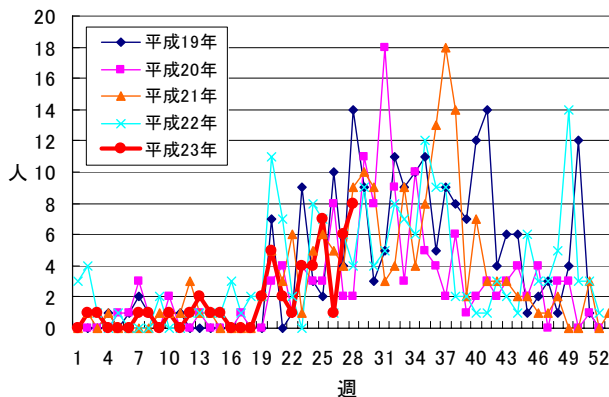
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 34名 （神戸市 10名、尼崎市 6名、西宮市 5名、伊丹保健所管内 2名、宝塚保健所管内 4名、明石保健所管内 1名、加古川保健所管内 4名、加東保健所管内 1名、丹波保健所管内 1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 5名 （有症者5名、うちHUS0名） （神戸市；O111 VT型不明 男性20歳代、O103 VT型不明 女性20歳代、O157 VT2+ 男性10歳代、尼崎市；O血清群不明 VT1+ VT2+ 女性60歳代、西宮市；O157 VT2+ 女性10歳代） （累積報告数51名；有症者37名、うちHUS1名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	梅毒 2名 （神戸市；早期顕症梅毒（Ⅱ期） 男性50歳代 感染地域；国内、感染経路；性的接触（接触者の性別不明）、豊岡保健所管内；無症候（無症状病原体保有者） 男性30歳代 感染地域；国内、感染経路；異性間性的接触）
追加報告	結核 8名 （姫路市 1名、芦屋保健所管内 1名、宝塚保健所管内 1名、加東保健所管内 1名、豊岡保健所管内 1名、朝来保健所管内 1名、洲本保健所管内 2名）、 腸管出血性大腸菌感染症 1名 （洲本保健所管内；O157 VT2+ 女性60歳代）、 レジオネラ症 2名 （明石保健所管内；肺炎型 男性60歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；水系感染、肺炎型 男性60歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 風しん 1名 （尼崎市；検査診断例 男性10歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明、ワクチン接種歴；無し）

目で見える動向（県内）

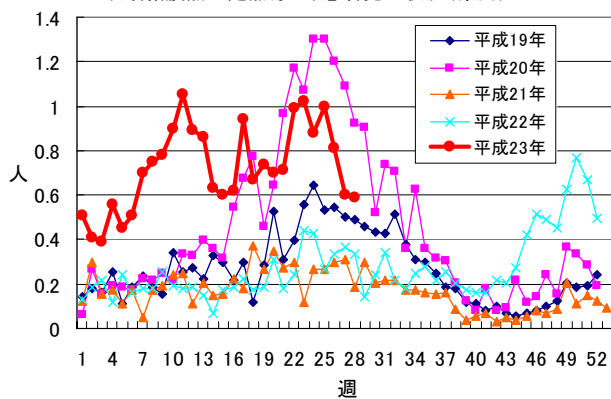
伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



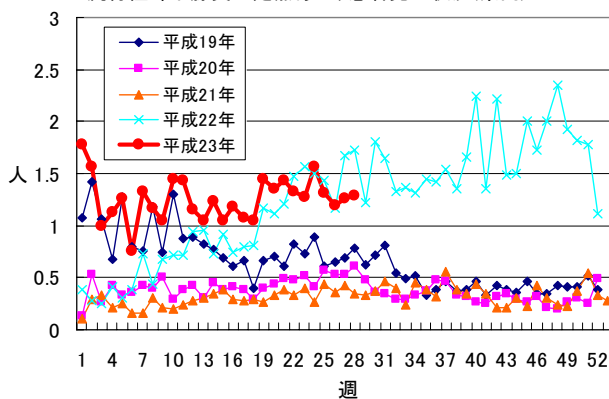
腸管出血性大腸菌感染症の患者数（県内）



咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況（県内）



流行性耳下腺炎の定点あたり患者発生状況（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。